

チームメンバー(安富祖・新崎)

取り組むべき真の課題(避難所が足りていない。ハコモノじゃない！本当の防災にむけて)

最初の課題

- ・避難施設が足りない？
- ・津波の避難先がわからない
- ・観光客は災害時はどうなる？
- ・老人は災害時はどうなる？
- ・避難所の人間関係の悪化

データ収集をして見えてきたこと

- ・資料の想定被害状況の見積もりが甘いのではない？
- ・算出根拠が災害対策基本法(S36第223号)に基づいて、想定される災害の状況、人口の状況その他の状況を勘案したものとなっており、変動する要因は含まれていない可能性がある
- ・沖縄市の観光客のデータによると前年比で入域客数は増加している

参照したデータ

https://drive.google.com/file/d/1on46XiZ07L4hmFyufimCB7sP144J1O_w/view?usp=share_link
避難所について・内閣府防災情報
<https://www.bo88sai.go.jp/taisaku/kyuujou/pdf/r01kaigi/siryo3.pdf>
沖縄市国際文化観光都市
<https://www.city.okinawa.okinawa.jp/k030/shiseijouhou/gaiyou/toukei/343734377.html>

課題解決のためのアイデア(民間施設を利用する)

- 災害になった場合に、施設利用させてもらう
- 災害になった場合の施設利用の判断を補助するために災害レベルを沖縄市が独自に想定する
- それらの共通認識を得るためにリーフレットを配布する

アイデアに至るまでの経緯

実際にデータとして観光客数(入域者数)が増加していることが確認できた

これに対して新しい施設を立てるのは、根本的な解決法にはならないと考えた

むしろ視点としては、地域として発展している点を鑑みて、民間企業の建物を活用すべきだと考えた